

ECO BIZ くりっぷ

◆エコガラス「あうん」◆

ワットワット

家を断熱するのに窓のことを忘れてはならない。窓用ガラスなど環境関連製品を手がけるワットワット（東京都板橋区、伊藤伸子社長、03・3975・5523）の伊藤拓文営業開発部長は、省エネルギー機運が高まる社会にこう問いかける。

建物で窓ガラスを通して出入りする熱は意外と多い。一般住宅では夏季に外から入り込む熱の71%、冬季に部屋から逃げ出す熱の48%が窓ガラスからによるものだ。だが世間では、壁を断熱しようとするのに比べ関心が低いのが実態だ。開発した窓用エコガラス「あうん」は、2枚のガラスを張り合わせた複層ガラス。ガラスの間に熱伝導率の低いクリプトンガスを入れ密封した。

一番の特徴は既存のサッシをそのまま流用でき、ガラスを取り換えるだけで済む点にある。あうんに使うガラスは1枚の厚みが3ミリ。2枚のガラスと気体層の合計で厚さは8ミリになり、1枚ガラス仕様の製品よりも厚くなる。しかしゴムパッキンの構造を工夫す

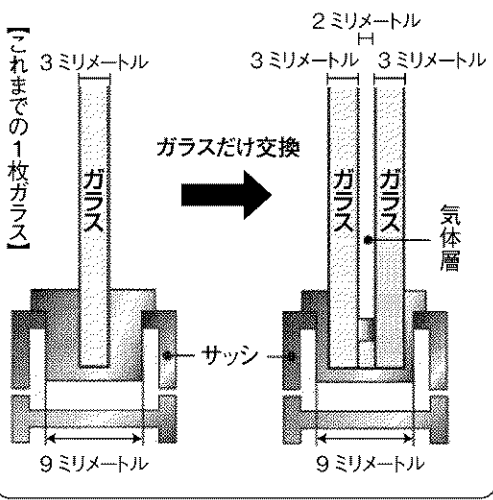
ることで全体の厚みは1枚ガラス仕様の製品と同じ9ミリに収まるようにした。

取り付け簡単、冷房費抑制

工期は1日で、費用もガラス代と工事費のみ。価格は1平方メートルあたり3万円台後半

半で、従来の複層ガラスと同等度という。気体層に特殊なフィルム

窓用エコガラス「あうん」の構造



をはさむことで付加機能を持たせた製品などもラインナップする。飛散防止と紫外線除去機能を備えた「紫色無（むらさきしきぶ）」や、壊しても割れない防犯機能を持つ「殿（しんがり）」などを用意。リビングや寝室など部屋の用途に合わせて選択できる。

取り付けただけで断熱効果が高まり、冷房費の抑制につながるエコガラス。だが「家を建てる際に窓ガラスのことも考えている人は少ない」（伊藤部長）のが現実だ。現在は地元板橋区の展示会などで窓からの放熱対策の重要性を顧客に直接説明し、取り付け実績を増やしている。

ビジネスには追い風も吹く。あうんは住宅エコポイントの対象製品になり、マンションの居住者への提案などにも力を入れる。

今夏は節電対策として、冷房の使用を抑えることが求められる。断熱ガラスを使った部屋は「朝、冷房をかけておけば冷却効果は数時間持続する」（同）という。断熱効果の高さとサッシ代がかからず工費が抑えられるといった低コストを売りに、有力な省エネ製品として拡販に弾みを付けていく考えだ。（随時掲載）